アプリで十分!?

チョット待った!

「くるまの"ナビ"を考える。」

2015年最新版

いま、見直す車載専用機の底力

カーナビ選びにおける最初の分かれ道は、ひと昔前なら「AVN車載機 or PND」だった。しかし今は「AVN車載機 or スマホ・ナビアプリ」に変わっている。さて、どちらを選ぶのが賢いのか…。それぞれの利点を、今一度じっくりと検討してみよう。

いまや"カーナビ"という言葉でひとくくりにされるほど、スマホのナビアプリはスタンダードなツールになってきた。それは本当なのか…。というわけで、11月にリリースされたばかりの人気アプリを試してみた。その実力や、いかに。

まとめ：太田祥三
写真：澤田和久

安い、地図が常に最新 これらは確かに利点

スマホはなにかと万能だ。片時も手放せない、という人も増えている。スマホが便利な理由は、アプリが充実しているからだ。王道的なものからすき間的なタイプまでさまざまあり、思いがけず使えるアプリに出会えた時には得をした気分にもなる。

ナビアプリもさまざまあり、本格的なものも増えてきた。使っている人もどんどん増えている。

スマホ・ナビアプリには、確かにメリットがある。1つ目のメリットは、地図データが常に最新であること。市販カーナビの無料の地図更新期間が切れてからもう何年も地図データを更新していないというなら、地図データが新しいナビアプリを使ったほうが快適だろう。

2つ目のメリットは、導入しやすいこと。費用が安いのである。無料のアプリもあるし、有料でも月に数百円といったところが相場だろう。そのくらいの出費ですむのなら、多少使いにくい部分があったとしても、AVN車載機を買うよりいいと思う人も多いようだ。

その2つ以外ではどんな利点があるのか、ものは試しで最新のスマホ・ナビアプリを使ってみた。インストールしてみたのは、11月6日にリリースされたばかりの、ゼンリン『いつもNAVI［マルチ］』。これを触ってみて、最新スマホ・ナビアプリの実力を確認。

やはり、地図が新しいという安心感は大きい。実績あるゼンリンの地図が悪いわけはないし、パッと見、手応えは十分だ。

次に、目的地検索を試してみた。これも最新AVN車載機と比べて劣っているようには感じない。目的地の候補はサーバのデータベースを照合するわけだし、データ容量も豊富だろう。

検索方法も多彩だ。ジャンルから選ぶこともできるし、エリアを指定してその中から探していくことも可能。周辺検索機能もあり、1番近くのコンビニも簡単に探し出せた。目的地設定もさくさくできる。

そしてこの『いつもNAVI［マルチ］』の場合は、カーナビだけに留まらず、徒歩、自転車、電車と移動手段に応じてそれぞれで使える。さらには乗り換え案内や時刻表の検索もできる。バスの時刻表まで詳細に調べられる。

アプリ自体は無料だ。ただ、鉄道運行情報、乗り換え案内の前後検索、渋滞情報、ルート検索および音声ナビに関しては会員登録が必要。費用は月額300円、もしくは年額3000円（ともに税込み）。価格の感じ方は人それぞれだろうが、月に何回か使うのであれば、十分にリーズナブルだと思った。

自車位置精度は割り切りも必要

次はルート案内についてだ。致し方ないことだが、画面の小ささはAVN車載機と比べてし